

JR東日本における テロ対策について

2014年8月25日
東日本旅客鉄道株式会社
総務部危機管理室長
渡辺雅博

1

JR東日本におけるテロ対策について

1. テロに対応する体制(危機管理本部)
2. 通常警戒体制時のテロ対策
3. 警戒レベルを上げた際のテロ対策
4. 今後の取組み

2

1. テロに対応する体制 (危機管理本部)

3

1. テロに対応する体制(危機管理本部)

STEP1 2001年1月 危機管理本部設置

設置目的

当社・グループ会社における
リスクマネジメント
クライシスマネジメント } 体制の確立

当社および当社グループの事業運営、社会的信用、人命・財産等に重大な影響を及ぼす可能性のある事態(テロ含む)に事前・事後に対応するための体制整備

位置付け

鉄道事業本部：列車運行・災害対応
危機管理本部：犯罪・不祥事・違法行為等対応
(テロ含む)

4

1. テロに対応する体制(危機管理本部)

STEP2 2004年7月 危機管理室設置

◆ 事務局業務に専念する組織として新設

⇒テロ等の突発的リスクに対する平時からの横断的危機管理体制の整備等

※海外でのテロ、戦争発生等の国際情勢緊迫化も体制強化要因の一つ

2001年 9月 アメリカ同時多発テロ

2003年 3月 イラク戦争勃発

2004年 3月 スペイン列車爆破テロ

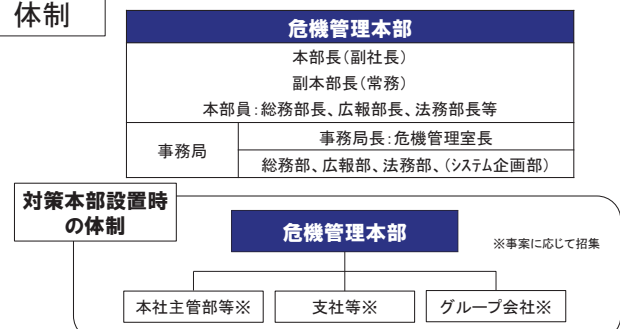
5

1. テロに対応する体制(危機管理本部)

危機管理本部の役割

- ◆ 警戒レベルに応じた、警備・警戒体制等の指示
- ◆ 情報の一元管理(グループ全体で連携して対応)

体制



6

2. 通常警戒体制時のテロ対策

7

2. 通常警戒体制時のテロ対策

① 駅構内における警戒強化の取組み

○防犯カメラの設置

- ・駅構内の改札口、コンコース、エスカレータ、ホーム等を中心に設置（首都圏の駅にはほぼ設置済み）



防犯カメラが作動していることがお客さまから分かるように表記

※駅事務所にて一元管理・監視を実施

※東京駅などの大規模な駅では防災センターにて監視を行っている

8

2. 通常警戒体制時のテロ対策

① 駅構内における警戒強化の取組み

○巡回警備の強化

- ・駅係員、ガードマンによる駅構内の定期的な巡回警備を実施
- ・巡回時には全社共通の「警戒」腕章を着用
- ・グループ会社にも配付



○ゴミ箱の透明化

- ・側面に透明材を使用し、内容物が外から見えるゴミ箱を設置



9

2. 通常警戒体制時のテロ対策

① 駅構内における警戒強化の取組み

○不審物発見に係るお客様への協力要請

- ・案内放送、ポスター掲示、電光(LED)掲示板表示を適宜実施



○非常停止ボタン

- ・異常発生時にお客さま自身が列車を止めることができる「非常停止ボタン」をホーム上に設置
- ・列車を緊急に止め、関係者に異常を知らせることが可能



10

2. 通常警戒体制時のテロ対策

② 車両における警戒強化の取組み

○車内防犯カメラの設置

- ・新幹線、N'EX、通勤電車(埼京線)に設置



○巡回警備の強化

- ・ガードマンによる車内巡回警備を実施



○不審物チェックの実施

- ・ガードマンによる不審物チェックを実施
- ・新幹線の始発駅では、車両清掃時にグループ会社社員が不審物チェックを実施

11

2. 通常警戒体制時のテロ対策

② 車両における警戒強化の取組み

○非常通報装置の設置

- ・異常時に乗務員との通話が可能な非常通報装置を車両に設置



○不審物発見に係るお客様への協力要請

- ・案内放送、電光(LED)掲示板表示を適宜実施



○車両の鍵の厳正管理

- ・管理台帳の整備、鍵管理ボックスの活用、合鍵作製の禁止等

12

2. 通常警戒体制時のテロ対策

③ その他の取組み

○新幹線における確認車の運行

- ・初列車が走行する前に、線路確認専用の保守用車が線路状態を確認



○グループ会社・工事関係者に対する指導・徹底

- ・門扉等の施設管理の徹底
- ・異常発見時に発見者自身が関係箇所に通報するよう指導・徹底

13

2. 通常警戒体制時のテロ対策

④ 国・警察機関等との連携

- ◆ 国・警察機関から発出されるテロに関する情報を積極的に入手
 - ⇒ 日頃から鉄道妨害に関する情報共有
 - ⇒ インターネット上におけるテロ情報のチェック（国・警察機関、当社ともに実施）
- ◆ 警察機関により主要駅には「鉄道警察隊」が配備されている
 - ⇒ 国鉄時代の「鉄道公安官」からの流れ
 - ⇒ 駅構内等の巡回警備を実施

14

2. 通常警戒体制時のテロ対策

⑤ テロ対策訓練への参加

- ◆ 国・警察機関主催の爆発物・NBC（核・生物・化学兵器）テロ等を想定した訓練に参加
 - ⇒ 東京駅でも2010年4月にテロ対策訓練を大々的に実施
- ◆ 関係機関と連携してお客さまの避難誘導等の対応実施



15

3. 警戒レベルを上げた際のテロ対策

16

3. 警戒レベルを上げた際のテロ対策

警戒レベルの設定

国際会議等の開催時・海外でのテロ発生時

国・警察機関
からの要請等
を考慮

警戒レベルの設定

最も警戒レベルを上げて対応したのが
APEC開催時

17

3. 警戒レベルを上げた際のテロ対策

APEC開催時に実施した主な対策

		対策
駅	警察官による立哨警備	新幹線及び首都圏の主要駅にて実施
	コインロッカー	主要駅で使用中止
	ゴミ箱	主要駅で使用中止
	終夜点灯	主要駅で実施
列車内	ゴミ箱	新幹線・N' EXで封鎖
	巡回警備	新幹線・N' EXは全ての列車で実施
車両基地	巡回警備	夜間巡回実施
	終夜点灯	新幹線ならびに首都圏在来線の全留置箇所を実施
線路内	線路状態の確認	通常実施している新幹線の確認車運行に加え、在来線において初列車での前頭巡回実施
重要施設	巡回	トンネル出入口・橋梁・変電所・門扉等の巡回、発電所への警備員配置
工事	工事の自粛	期間中の工事中止

この他、APEC開催にあわせて防犯カメラの増設、車両留置箇所におけるフェンス増強等を実施

18

4. 今後の取組み

4. 今後の取組み

◆ 機械警備の更なる活用

- ⇒防犯カメラの一極集中管理を目的としたネットワーク化
- ⇒顔認識等の高機能に対応する高解像度化

◆ サイバー攻撃への対応

- ⇒システム管理の更なる強化
(コンピュータシステム自体の強化並びに管理者の人材育成)
- ⇒国・警察機関等の部外関係機関との連携